

議決権行使レポート

証券コード 9706

会社名 日本空港ビルデング

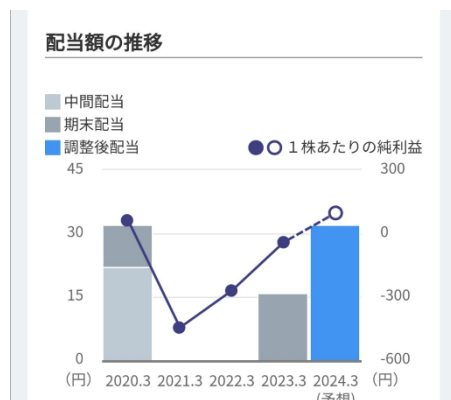
	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）12名選任の件			
鷹城 勲 氏	○		
横田 信秋 氏	○		
鈴木 久泰 氏	○		
大西 洋 氏	○		
田中 一仁 氏	○		
小山 陽子 氏	○		
植木 義晴 氏	○		
木村 恵司 氏	○		
福澤 一郎 氏	○		
川俣 幸宏 氏	○		
藤野 威 氏	○		
松田 圭史 氏	○		
第3号議案 監査等委員である取締役 1名選任の件			
岩崎 賢二 氏	○		
第4号議案 補欠の監査等委員である取締役 1名選任の件			
杉田 庸子 氏	○		
第5号議案 当社株式に対する大規模買付行為への対応方針（買収防衛策）の継続の件	○		

上記の推奨をした理由

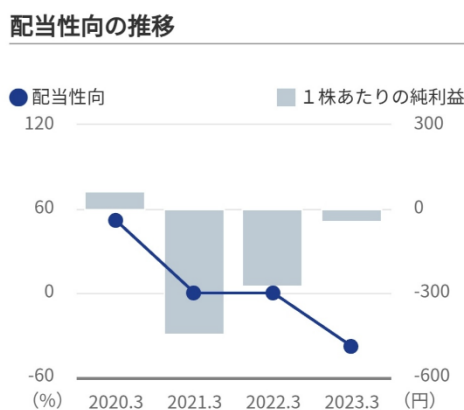
**第1号議案 剰余金処分の件**

私はこの議案に賛成である。当期の配当金は1株につき16円となっている。しかし、新

型コロナウイルスの感染拡大などの影響で2021年3月期、2020年3月期ともに配当金は0円であった。よって、当期の配当金は株主にとっては良いことである。さらに、配当性向は2023年3月期はマイナスとなっていたが、これは新型コロナウイルスの影響下で航空産業が大打撃を受け、当期純利益がマイナスになっているにもかかわらず、配当金を出しているということである。このマイナスの値は短期的な理由であるため、心配する必要はなく、2025年度までに30%以上になると見込まれる。



	年間配当(実績)		
	中間配当	期末配当	合計
2023年3月期	0.00	16.00	16.00
2022年3月期	0.00	0.00	0.00
2021年3月期	0.00	0.00	0.00
2020年3月期	22.00	10.00	32.00



	配当性向	1株あたりの純利益
2023年3月期	-38.19%	-41.89円
2022年3月期	0.00%	-270.75円
2021年3月期	0.00%	-445.92円
2020年3月期	51.85%	61.71円

## 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）12名選任の件

私は取締役候補者12名全員に賛成する。全体的に見て、全員の専門性及び経験がバランスよく分かれていて、様々な角度から経営に関する重要事項の決定や業務執行への監督等に重要な役割を果たすことが期待できると判断できるからだ。

以下、個別的に考える。

### ① 鷹城 勲 氏（再任）

1968年に当社に入社して以来培った、企業経営、財務・会計、法務・コンプライアンス

ス、営業・マーケティングといった豊富な専門性及び経験を活かした経営ができると期待できる。

② 横田 信秋 氏 (再任)

2009年に取締役役に就任して以来、様々な部門を担当し、監督していた。よって、それらの職務を通じた経験を活かすことができると考える。

③ 鈴木 久泰 氏 (再任)

国土交通省に勤務していた経験、さらには航空局長、海上保安庁長官を務めあげた経験から安全・保安、空港・航空といった専門性及び経験に特に優れていると考えられ、それらの知識は会社経営に不可欠であると考ええる。

④ 大西 洋 氏 (再任)

当社の取締役のみならず、過去の株式会社三越伊勢丹ホールディングス、小松マテール株式会社の取締役を務めた経験から営業・マーケティング分野などで幅広い見識を有しているため重要な役割を果たすことができる。

⑤ 田中 一仁 氏 (再任)

1987年に当社入社以来、担当してきた経理及び経営企画等の部門における職務を通じた豊富な経験を活かすことができると考える。

⑥ 小山 陽子 氏 (再任)

田中 一仁 氏と同様に、1992年に当社入社以来、担当してきた経営企画及び事業開発等の部門における職務を通じた豊富な経験を活かすことができると考える。

⑦ 植木 義晴 氏 (再任・社外)

過去に日本航空株式会社に勤務し、さらに代表取締役を務めた経験があるため、空港・航空といった専門性及び経験を客観的な視点に基づいて、経営の監督をすることができると期待する。

⑧ 木村 恵司 氏 (再任・社外・独立)

過去に三菱地所株式会社に勤務し、さらに代表取締役を務めた経験があるため、不動産・施設といった専門性及び経験を客観的な視点に基づいて、経営の監督をすることができると期待する。

⑨ 福澤 一郎 氏 (再任・社外)

過去にANAホールディングス株式会社代表取締役を務めた経験があるため、経営者としての豊富な経験や見識を活かすことができると考える。

⑩ 川俣 幸宏 氏 (新任・社外・独立)

交通事業や不動産事業等を営む京浜急行電鉄株式会社で代表取締役を務めている経験から独立した客観的な新たな視点をもたらすことができると期待する。

⑪ 藤野 威 氏 (新任)

当社入社以来担当してきた、営業及び事業開発等の部門における専門性を新たな視点から重要な役割を果たすことができると考える。

⑫ 松田 圭史 氏 (新任)

当社入社以来担当してきた、経営企画、施設及び事業開発等の部門における専門性を新たな視点から重要な役割を果たすことができると考える。

**第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件**

岩崎 賢二 氏 (新任・社外・独立)

私は監査等委員である取締役候補者、岩崎 賢二 氏の選任に賛成する。  
過去に東京海上日動火災保険株式会社で経営企画等の部門を担当し、それらの職務を通じた経験は当社の監査業務で十分に発揮することができると思う。

**第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件**

杉田 庸子 氏 (社外・独立)

私は補欠の監査等委員である取締役、杉田 庸子 氏の選任に賛成する。  
公認会計士として現有限責任あずさ監査法人東京事務所や BDO Seidman LLP サンフランシスコ事務所等で勤め上げた豊富な経験や知識は当社の監査・監督を適切に行う際に活かすことができると思う。

**第5号議案 当社株式に対する大規模買付行為への対応方針（買収防衛策）の継続の件**

当社は羽田空港において、航空系事業として国内線ターミナルの建設、管理運営を行い、2018年4月には東京国際空港ターミナル株式会社を連結子会社化し、国内線・国際線ターミナルを一体的に運用することで、より一層の効率的なターミナル運営会社として事業を行っている。さらにこれからの中長期的な増加が見込まれる訪日外国人による国内消費を取り込む施策を実施し、これらを支える、新たな価値を創造する環境の整備や株主・投資家に対する対話機会の拡大と各施策の確実性を高めるために組織・ガバナンスの再編・強化を図りながら、中期経営計画を邁進している。よって、大規模買付行為が当社に与える影響は計り知れないと言えるため、大規模買付行為に対しては今までと同様に、相応の質問や、提案内容等の改善要求、さらには、株主の皆様にもメリットのある相当な代替策が提示される機会を確保するなどの対応方針を取る必要があると考えるため、この議案に賛成である。

**参考文献**

・日本空港ビルデング 2023年定時株主総会招集通知及び株主総会資料

<https://www2.jpx.co.jp/disc/97060/140120230601592035.pdf>

(最終閲覧日 2023/06/27)

- IR BANK 日本空港ビルデング

<https://irbank.net/E03863/dividend>

(最終閲覧日 2023/06/27)

- 日本空港ビルデング 決算短信

<https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/files/ir/000013233.pdf>

(最終閲覧日 2023/06/27)

- みんかぶ 日本空港ビルデング配当情報

<https://minkabu.jp/stock/9706/dividend>

(最終閲覧日 2023/06/27)